

製品名: Pumilio 2 (18V6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe16693**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:20-1:50, FC 1:20-1:50, IP 1:10-1:50
分子量	114kDa

抗原情報

遺伝子名	PUM2
別名	PUM2; PUMH2; Pumilio2; PUML2;
遺伝子 ID	23369.0
SwissProt ID	Q8TB72
免疫原	ヒトプミリオ2の合成ペプチド

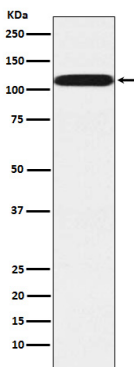
背景

mRNA 標的の 3'-UTR に結合して翻訳と mRNA の安定性を制御する配列特異的 RNA 結合タンパク質。その相互作用と組織特異性から、重要な転写産物の翻訳を制御することで幹細胞の増殖と自己複製をサポートするために必要である可能性が示唆されています。mRNA 標的の 3'-UTR に結合して転写後抑制因子として機能する配列特異的 RNA 結合タンパク質。RNA コンセンサス配列である Pumilio 応答エレメント (PRE)、5'-UGUANAUA-3' に結合し、これは Nanos 応答エレメント (NRE) と関連しています (PubMed:21397187)。転写後の抑制は、CCR4-POP2-NOT デアデニラーゼを直接リクルートすることで作用し、翻訳阻害と mRNA 分解をもたらします (PubMed:22955276)。miRNA のアクセス性を促進することで、脱アデニル化非依存性の抑制も誘導する (PubMed:18776931, PubMed:22345517)。E2F3 mRNA の 3'-UTR に結合し、miRNA の制御を促進することで、転写後リプレッサーとして作用する (PubMed:22345517)。ウイルス感染の細胞質感知にも関与する (PubMed:25340845)。有糸分裂、DNA 修復、DNA 複製に関わる重要な因子など、ゲノム安定性の維持に必要な遺伝子プログラムを抑制します。これらの標的 mRNA の発現を抑制する能力は、lncRNA である NORAD (DNA 損傷によって活性化される非コード RNA) によって制御されます。NORAD は、その豊富な存在量と多数の PUMILIO 結合部位により、PUM1 および PUM2 の大部分を細胞質内に隔離することができます (PubMed:26724866)。DCUN1D3 mRNA レベルを制御する可能性があります (PubMed:25349211)。幹細胞の増殖と自己複製をサポートする可能性があります。miRNA MIR199A 前駆体に特異的に結合し、PUM1 と共に転写後レベルで miRNA MIR199A の発現を制御します (PubMed:28431233)。

研究分野

-

画像データ



293T 細胞溶解物中の Pumilio 2 発現のウェスタン プロット分析。